

第15号(2022年)

会報 SPACESHIP EARTH

宇宙船地球号



特定非営利活動法人
奈良県国際交流振興会



「どんぐりころころ」考



このご挨拶の筆をとったとき、子どもの頃歌った童謡が脳裏を過ぎった。

『どんぐりころころ ドンブリコ お池にはまってさあ大変 どじょうが出て来て
こんにちは 坊ちゃん一緒に遊びましょ どんぐりころころ喜んで しばらく一緒に
遊んだが やっぱお山が恋しいと 泣いてはどじょうを困らせた』

私の幼少の頃は「どじょう」を「どぜう」と表記した。星も変わり今は「どじょう」であり、「どんぐりがどじょうと話すなんて!」と科学的思考の時代になったが、私はこの歌から以下の物語を連想した。

お山で仲間と楽しく暮らしていたどんぐり君、時折眼下の池を見てはちょっとした憧れ。実りの秋を迎え、枝から離れて独り立ち、ころころ転がってドンブリコ、池の中へ。さあ大変、文化の異なる水の世界、見るもの、なすこと全てが異なる。どうしよう。恐怖心がつのるばかり。そこへどじょう君がやって来て、「こんにちは、坊ちゃん一緒に遊びましょ」と声をかけるが、どじょう語がわからない。どんぐり君は益々不安が増すばかり。でも、どじょう君の優しく親身なはからいで、しばらくは一緒に異文化を体験することが出来た。でもやっぱり水の文化圏には馴染めず、憧れも失せて「帰りたいよ～」と泣きじゃくるばかり。自力では何もしようとしないうどんぐりは、折角異文化の隔てなく受け入れて、言葉の壁を超えて仲間づくりをしようと努力しているどじょう君を困らせるばかりであった。

この童謡の作詞者である青木存義さんは、あえて三番の作詞をせず、これを歌う子どもたちに自由に作って欲しいという希望があった。子どもたちの自由な発想に託したのだ。私も三番を作ってみた。

「どんぐりころころ泣いてたら、仲良しもみじが舞い降りて、泣かずに学んで慣れましょ、声掛けどんぐり励ました。」

今は、「どぜう」ではなく「どじょう」の時代である。今を生きる子どもたちは、自分の意志で未知の世界へ飛び込み、体験によって外国語で「もの」を考える社会を知り、自らを成長させることが出来る。ドンブリコの「どんぐり」ではなく、自分から飛び込む「どんぐり」になって、どじょうを困らせることなく、共に学びあい、友好を深めるグローバルな「どんぐり」になろう。

奈良県国際交流振興会はそれを支援している。言わば童謡(三)の舞い降りたもみじである。今世、コロナ禍、海外での交流が困難であるため、県内でのイングリッシュキャンプを軸に活動している。

本振興会は、国際社会に貢献できる人材の育成と、友好親善を目的として活動しており、これに賛同いただく県内の協賛企業各社のご支援で運営されている。各社におかれては、コロナ禍で暗い経済状況にあっても変わらぬご支援を賜った。私たちはその意に背くことなく、県内青少年への取り組みの充実に努める所存である。協賛企業各位に衷心より謝意を表します。

奈良県国際交流振興会理事長 天 根 俊 治

目 的

この法人は、県内の青少年及び教育関係者に対して、国際教育並びに相互文化交流の普及促進及び交換留学等留学の実践並びに発展向上に関する事業を行い、自国や他国の文化についての深い認識や広い理解を持ち国際社会に貢献できる人材育成並びに国際友好親善向上に寄与することを目的とする。

沿 革

設 立 平成15(2003)年4月

特定非営利活動法人認証 平成18(2006)年2月7日



令和3年度事業報告書

令和3年4月1日から 令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人 奈良県国際交流振興会

1 事業の成果

例年、夏休みと春休みの年2回、県内の小中高生に対して、ホームステイによる異文化体験国際交流事業を実施してきたが、コロナ禍の影響で一昨年度春休みから引き続き、今年度も実施していない。

そのような中で「with コロナ」の時代の活動というだけでなく将来のホームステイ参加へのステップとなることを期して、昨年度好評を得ていた「奈良イングリッシュキャンプ」を、小学生を対象に夏休み二日間の日程で奈良芸術短期大学を会場に単独主催にて実施し、40名の参加者を得た。また、春休みには、奈良県教育委員会との共催で、北部は奈良学園登美ヶ丘中学校、南部は奈良芸術短期大学の2か所を会場に実施。北部会場は65名、南部会場は44名の参加を得た。いずれもコロナ禍中での実施ではあったが、参加者からは勇気をもって開催したことに対して賛同の声を多く寄せていただいた。今後も、世界で活躍する夢をもった子どもたちを応援し続け、国際社会に貢献できる人材を育て、国際交流、何より世界の平和に寄与できるように努力していきたい。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

| 定款の事業名 | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数 | 受益対象者の範囲及び人数 | 支出額(千円) |
|--------------------------|----------------------|----------|-------------|--------|------------------|---------|
| 留学に係る普及促進及び支援事業 | 海外大学進学説明会 | 実施せず | | 0 | | 0 |
| | 長期留学説明会 | 実施せず | | 0 | | |
| 国際文化交流に係る普及促進及び支援事業 | ホームステイによる異文化体験国際交流事業 | 実施せず | | 7 | | 82 |
| 国際教育の普及促進及び支援事業並びに人材育成事業 | ホームステイ説明会及びオリエンテーション | 実施せず | | 7 | | 56 |
| 国際文化交流に係る調査研究事業 | 県内小・中・高の実態調査 | 随時 | 県内 | 6 | 県内小中高校 | 0 |
| 国際文化交流に係る教育研修事業 | 国内異文化体験教育研修事業 | 8月28日29日 | 奈良芸術短期大学 | 7 | 小学生40名 | 483 |
| | | 3月26日27日 | 奈良芸術短期大学 | 3 | 小学生44名 | |
| | | 3月26日27日 | 奈良学園登美ヶ丘中学校 | 4 | 小学生65名 | |
| 国際文化交流に係る刊行物発行事業 | 国際交流体験記及び会報誌の刊行 | 11月 | | 5 | ホームステイ参加者、保護者、教員 | 143 |

令和4年度事業計画書

令和4年4月1日から 令和5年3月31日まで

特定非営利活動に係る事業

| 定款の事業名 | 事業内容 | 実施予定日時 | 実施予定場所 | 受益対象者の範囲及び予定人数 |
|--------------------------|----------------------|--------|--------|----------------|
| 留学に係る普及促進及び支援事業 | 海外大学進学説明会 | 予定なし | | |
| | 長期留学説明会 | 予定なし | | |
| 国際文化交流に係る普及促進及び支援事業 | ホームステイによる異文化体験国際交流事業 | 予定なし | | |
| 国際教育の普及促進及び支援事業並びに人材育成事業 | ホームステイ説明会及びオリエンテーション | 予定なし | | |
| 国際文化交流に係る調査研究事業 | 県内小・中・高の実態調査 | 随時 | 県内 | 県内各校 |
| 国際文化交流に係る教育研修事業 | 国内研修 | 3月 | 県内 | 県内小学生 |
| 国際文化交流に係る刊行物発行事業 | 国際交流体験記及び会報誌の刊行 | 11月 | | 国内研修参加者、保護者、教員 |



English キャンプ参加者体験談

5年生 横山 智香

私は母の勧めでこのイングリッシュキャンプに参加しました。

私は少し人見知りのところがあるので、最初は学校や学年が違う知らない子達の中で、また、先生は外国人ということで、とても緊張しました。でも、最初の授業で、もうとても打ち解けた雰囲気だったので、とても楽しかったです。そんな中で英語を学んだり、外国の習慣などを知ることが出来たりして、とても良かったです。

先生もとても明るくノリがよかったので、授業がとても楽しく、面白かったです。また、他の子達と遊んだり、話したりして、楽しみながら外国のことについてたくさんのことを学べたので、とても良い経験でした。



English キャンプ参加者保護者体験談

4年生、6年生保護者 古島 尚弥

2022年3月、奈良学園登美ヶ丘にて開催された「2022年春休み 奈良イングリッシュキャンプ」に兄弟（小学校新4年と6年）で参加させていただきました。

子どもたちは保育園の時から定期的に英語に触れる機会があり、小学校入学後も放課後は英語のレッスンもある民間の学童に通っていました。また将来のことを考えて、子どもたちに少しでもグローバルな感覚を身につけて欲しいと思い、家庭でもホストファミリーとして、アジアを中心にこれまで10カ国ほどの学生を受け入れてきました。

しかしながら、子どもたちは挨拶など小学校で学んでいる程度の英語レベルなので、直接外国人と英語で触れ合う中で異文化体験をしてほしいと思い、今回兄弟でイングリッシュキャンプに参加することにしました。

プログラムが始まるまでは、知らない子たちとレッスンを受けることや外国人の先生がどんな人かなど、やや不安な様子を見せていましたが、初日が終わった後に感想を聞いてみると、2人とも「英語で色々なゲームをしたりして楽しかったし、先生も楽しくレッスンを進めてくれる！」と言ってきていました。

2日目は初日のような不安な様子はなく、むしろ楽しみにしている様子で、教室に行ってくれました。終了後は、英語で少し先生とやり取りができたことや、先生の英語が初日より少し聞き取ることができたことなどを報告してくれました。



今回イングリッシュキャンプに参加させていただき、子どもたちは英語を使って外国人の先生とのコミュニケーションを取ってみることはもちろんのこと、知らない子たちと一緒にレッスンを受けることで、新しい環境にも適応していく力も身につけることができたのではないかと考えています。

今後も機会があれば、このようなイングリッシュキャンプに参加させたいと思います。改めまして、2人の子どもたちにこのような経験の機会をいただいたことに感謝申し上げます。

6年生保護者 フィードラー由季

小学校6年生の息子がイングリッシュキャンプを案内する紙を学校から持って帰ってきて「これ行きたいから行かせてくれない?」と言ってきました。コロナ禍になってからさまざまな行事がなくなり、高学年になれば短期での留学も考えていた我が家にとってとても有難い行事のお知らせでした。

父親がアメリカ人ということもあり日常生活で英語に触れる機会はあったのですが、大きくなるにつれ英語をもっと話せるようになりたい! グランマや親戚の方とも英語でコミュニケーションを取りたいと強く思うようになったようです。

コロナの状況が厳しさを増していた時期だったので開催されるのかわからないといった状況ではありましたが、開催されるとご連絡があった時の息子は大喜びでした。

当日奈良芸術短期大学まで送迎をする際は、親の私たちも息子も緊張していましたが、1日目のキャンプを終えて出てきた息子はとても軽い足取りで「めっちゃ楽しかったー!」と笑顔で帰ってきました。

ちょうどイングリッシュキャンプの取材に奈良新聞の方が来られていたようで、息子がインタビューに応えたんだと嬉しそうに話してくれ、先生のお話やその日お手伝いに来られていた学生のお兄さんのお話、いろんなエピソードを話してくれました。

コロナ禍での短縮されたたった2日間の中で、英語の学習を通していろんな人と関わったこと、いろんな体験が出来たことに本当に感謝です。

また、息子自身今回の参加を通して英語でのコミュニケーションがとても楽しいと実感し、ますます英語や英語で会話することへの興味が芽生えたようです。お家でも英語を使うことが増えたように思います。

今は自宅やインターネットを通して気軽に学習出来る時代ですが、改めて人と直にコミュニケーションを取りながら学ぶことの素晴らしさを感じました。次回もこのようなイングリッシュキャンプがあれば是非参加したいと思います。





会計収支計算表

令和3(2021)年度 特定非営利活動に係る事業会計活動報告書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで
(特定非営利活動法人 奈良県国際交流振興会)

| 科目 | 予算 | 決算 | 備考 |
|--------------------------|---------|---------|--------|
| I 経常収入の部 | | | |
| 1 会費・入会金収入 | | | |
| 正会員 | | | |
| 個人会費 | 45,000 | 36,000 | 会員数 12 |
| 賛助会員 | | | |
| 団体会費 個人会費 | 500,000 | 260,000 | 会員数 5 |
| 計 | 545,000 | 296,000 | |
| 2 事業収入 | | | |
| 留学に係る普及促進及び支援事業 | 0 | 0 | |
| 国際文化交流に係る普及促進及び支援事業 | 0 | 0 | |
| 国際教育の普及促進及び支援事業並びに人材育成事業 | 0 | 0 | |
| 国際文化交流に係る調査研究事業 | 0 | 0 | |
| 国際文化交流に係る教育研修事業 | 0 | 0 | |
| 国際文化交流に係る刊行物発行 | 0 | 0 | |
| 計 | 0 | 0 | |
| 3 その他収入 | | | |
| 奨学金積立より取崩し | | | |
| 雑収入 | | 200,000 | |
| 計 | 0 | 1 | 利息 |
| 計 | 0 | 200,001 | |
| 経常収入合計(A) | 545,000 | 496,001 | |

令和4(2022)年度 特定非営利活動に係る 事業会計予算書

令和4年度4月1日から令和5年3月31日まで
(特定非営利活動法人 奈良県国際交流振興会)

| 科目 | 金額(単位:円) | |
|--------------------------|----------|------------|
| I 経常収入の部 | | |
| 1 会費・入会金収入 | | |
| 正会員 | | |
| 個人会費・入会金 | 45,000 | |
| 賛助会員 | | |
| 団体会費・入会金 | 400,000 | |
| | | 445,000 |
| 2 事業収入 | | |
| 留学に係る普及促進及び支援事業 | 0 | |
| 国際文化交流に係る普及促進及び支援事業 | 0 | |
| 国際教育の普及促進及び支援事業並びに人材育成事業 | 0 | |
| 国際文化交流に係る調査研究事業 | 0 | |
| 国際文化交流に係る教育研修事業 | 0 | |
| 国際文化交流に係る刊行物発行 | 0 | |
| | | 0 |
| 3 その他収入 | | |
| 奨学金積立より取崩し | 300,000 | 300,000 |
| 経常収入合計 | | |
| | | 合計 745,000 |

| | | | |
|--------------------------|---------|-----------|---------|
| II 経常支出の部 | | | |
| 1 事業費 | | | |
| 留学に係る普及促進及び支援事業 | 0 | 0 | |
| 国際文化交流に係る普及促進及び支援事業 | 30,000 | 81,937 | 雑費、会議費等 |
| 国際教育の普及促進及び支援事業並びに人材育成事業 | 25,000 | 55,929 | 通信費 |
| 国際文化交流に係る調査研究事業 | 0 | 0 | |
| 国際文化交流に係る教育研修事業 | 100,000 | 482,818 | 雑費、研修費等 |
| 国際文化交流に係る刊行物発行 | 150,000 | 143,220 | 会報誌印刷代 |
| 計 | 305,000 | 763,904 | |
| 2 管理費 | | | |
| 会議費 | 50,000 | 45,340 | 総会 |
| 事務所管理費 | 10,000 | 9,992 | 電気代 |
| 旅費交通費 | 50,000 | 33,720 | 事務所交通費 |
| 通信費 | 20,000 | 20,220 | 電話代 |
| 雑費 | 30,000 | 31,628 | 手数料等 |
| 租税公課 | 80,000 | 71,600 | 法人県市民税 |
| 計 | 240,000 | 212,500 | |
| 経常支出合計(B) | 545,000 | 976,404 | |
| 当期収支差額(C)=(A)-(B) | 0 | △ 480,403 | |
| 前期繰越収支差額 | 641,043 | 641,043 | |
| 次期繰越収支差額 | 641,043 | 160,640 | |

| | | | |
|--------------------------|---------|---------|------------|
| II 経常支出の部 | | | |
| 1 事業費 | | | |
| 留学に係る普及促進及び支援事業 | 0 | | |
| 国際文化交流に係る普及促進及び支援事業 | 0 | | |
| 国際教育の普及促進及び支援事業並びに人材育成事業 | 0 | | |
| 国際文化交流に係る調査研究事業 | 45,000 | | |
| 国際文化交流に係る教育研修事業 | 300,000 | | |
| 国際文化交流に係る刊行物発行 | 150,000 | 495,000 | |
| 2 管理費 | | | |
| 事務所管理費 | 10,000 | | |
| 会議費 | 70,000 | | |
| 通信費 | 60,000 | | |
| 雑費 | 30,000 | | |
| 租税公課 | 80,000 | 250,000 | |
| 経常支出合計 | | | 合計 745,000 |
| 経常収支差額 | | | 0 |
| 当期収支差額 | | | 0 |
| 前期繰越収支差額 | | | 160,640 |
| 次期繰越収支差額 | | | 160,640 |



事業概要

| 実施年 | 実施月 | 研修地 | 参加者数 |
|-------|-----|---|--|
| 平成15年 | 8月 | ニュージーランド(小中) | 25名 |
| 平成15年 | 12月 | オーストラリア(小中) | 10名 |
| 平成16年 | 3月 | カナダ(中高) イギリス(中高) | 24名 26名 |
| 平成16年 | 8月 | ニュージーランド(小中) オーストラリア(中高) | 51名 42名 |
| 平成17年 | 3月 | カナダ(中高) イギリス(中高) | 12名 26名 |
| 平成17年 | 8月 | ニュージーランド(小中) オーストラリア(高) | 49名 18名 |
| 平成18年 | 3月 | オーストラリア(小中高) イギリス(中高) | 42名 19名 |
| 平成18年 | 8月 | ニュージーランド(小中) オーストラリア(中高) | 30名 26名 |
| 平成19年 | 3月 | カナダ(中高) オーストラリア(小中高) | 11名 19名 |
| 平成19年 | 8月 | ニュージーランド(小) オーストラリア(中) | 19名 21名 |
| 平成20年 | 3月 | ニュージーランド(小中) オーストラリア(中高) | 13名 17名 |
| 平成20年 | 7月 | ニュージーランド(小中) アメリカ(中高) | 27名 18名 |
| 平成21年 | 3月 | オーストラリア(小中高) | 19名 |
| 平成22年 | 3月 | ニュージーランド(小中) イギリス(中高) | 13名 17名 |
| 平成22年 | 8月 | ニュージーランド(小) オーストラリア(中高) | 6名 19名 |
| 平成23年 | 3月 | カナダ(小中) イギリス(中高) | 20名 16名 |
| 平成23年 | 8月 | オーストラリア(小中) | 13名 |
| 平成24年 | 3月 | イギリス(中高) | 29名 |
| 平成24年 | 8月 | ニュージーランド(小中) | 19名 |
| 平成25年 | 3月 | オーストラリア(小中) イギリス(中高) | 14名 20名 |
| 平成25年 | 8月 | ニュージーランド(小中高) | 9名 |
| 平成26年 | 3月 | イギリス(中高) | 22名 |
| 平成26年 | 8月 | イギリス(中高) | 18名 |
| 平成27年 | 3月 | カナダ(小中) イギリス(中高) | 13名 16名 |
| 平成27年 | 8月 | ニュージーランド(小中) アメリカ(中高) イギリス(中高) | 4名 4名 4名 |
| 平成28年 | 3月 | イギリス(小中) ニュージーランド(中高) | 12名 7名 |
| 平成28年 | 8月 | ニュージーランド(小中) アメリカ(中高) イギリス(中高) | 9名 8名 5名 |
| 平成29年 | 3月 | イギリス(中高) カナダ(小中高) | 13名 13名 |
| 平成29年 | 8月 | オーストラリア(小中高) アメリカ(中高) カナダ(小中高) | 5名 4名 5名 |
| 平成30年 | 3月 | オーストラリア(小中) アメリカ(中高) イギリス(中高) | 6名 2名 3名 |
| 平成30年 | 8月 | オーストラリア(小中) ニュージーランド(小中) カナダ(中高) | 4名 5名 7名 |
| 平成31年 | 3月 | オーストラリア(小中高) イギリス(中高) | 4名 13名 |
| 令和元年 | 8月 | アメリカ(小中高) オーストラリア(中) カナダ(小中高) ニュージーランド(小高) シンガポール(中) イギリス(中高) マルタ共和国(高) | 9名 6名 9名 5名 1名 5名 2名 |

参加者合計 1,002名

I 異文化体験国際交流研修(海外ホームステイ)

*平成15年度以降、県内の小学校5年生～高等学校3年生を対象に左記のとおり実施

II 異文化体験国際交流研修(国内研修)

| 実施年 | 実施月 | 研修名 | 研修場所 | 校種 | 参加者数 |
|-------|--------|---------------|----------------------------|-----|------------|
| 平成18年 | 12月 | 国内合宿 | 奈良ユースホテル | 小 | 13名 |
| 平成19年 | 5月 | 国内合宿 | 国立曽爾少年の家 | 小 | 60名 |
| 令和元年 | 6月~10月 | イングリッシュキャンプ | 大阪、京都、福山、滋賀 | 小中高 | 57名 |
| 令和2年 | 3月 | 奈良イングリッシュキャンプ | 奈良県立国際高等学校 | 小中 | 177名 |
| 令和3年 | 8月 | 英語研修プログラム | 奈良芸術短期大学 | 小 | 40名 |
| 令和4年 | 3月 | 奈良イングリッシュキャンプ | 奈良芸術短期大学 奈良学園登美ヶ丘中・高等学校 | 小 | 44名 65名 |

国内研修参加者 456名

III 教育講演会

第1回教育講演会(設立記念)

日 時:平成15(2003)年5月25日(日)14:00~

会 場:桜井市立図書館・研修ホール

講 師:岡 秀夫(東京大学大学院・総合文化研究科教授)

参加者:教育関係者・市民・生徒等約150名

第2回教育講演会・シンポジウム

日 時:平成18(2006)年5月14日(日)13:00~

会 場:奈良県社会福祉総合センター

講 師:直山木綿子(京都市総合教育センター指導主事)

パネラー:ALT 1名、小中高教員4名

参加者:小学校教職員等 約50名

IV 教員研修講座

第1回小学校「英語活動」担当教員宿泊研修

日 時:平成17(2005)年8月18日~19日

場 所:ホテル アウィーナ大阪

講 師:高島英幸(東京外国語大学教授)

ワークショップ講師:県内ALT3名 県内高校教諭5名

参加者:小学校教員15名 その他(講師等)合計約40名

第2回小学校「英語活動」担当教員宿泊研修

日 時:平成18(2006)年8月20日~21日

場 所:春日野荘

講 師:文部科学省教科調査官 菅 正隆

ワークショップ講師:県内ALT3名 県内高校教諭5名

参加者:小学校教員24名 その他(講師等)合計約40名

第3回小学校「英語活動」担当教員研修会

日 時:平成19(2007)年8月5日~6日

場 所:春日野荘

講 師:文部科学省教科調査官 菅 正隆

ワークショップ講師:県内ALT3名 県内高校教諭4名

参加者:小学校教員 25名 その他(講師等)合計約40名

第4回小学校「英語活動」担当教員研修会

日 時:平成20(2008)年8月5日~6日

場 所:橿原観光ホテル

講 師:文部科学省教科調査官 菅 正隆

実践発表者:奈良市教委指導主事、葛小、旭ヶ丘小教諭

参加者:小学校教員 50名



*後援：奈良県教育委員会、奈良県都市教育長協議会、奈良県町村教育長会、奈良県小学校長会、奈良県中学校長会、奈良県高等学校長協会、奈良県私立中学高等学校連合会、奈良県PTA協議会、奈良県高等学校PTA協議会、奈良新聞社、奈良テレビ放送、まちづくり国際交流センター

賛助会員になって頂いた法人・企業名

| | |
|--------------|-------------|
| (株)アイエスエイ | (株)中井メリヤス |
| アスカ美装(株) | 奈良交通(株) |
| 小山(株) | 奈良豊澤酒造(株) |
| 三和住宅(株) | 奈良トヨタ自動車(株) |
| 佐藤薬品工業(株) | (株)南都銀行 |
| (株)新興出版社 啓林館 | 野村證券(株)奈良支店 |
| 大光宣伝(株) | (株)藤井書房 |
| 大同薬品工業(株) | 吉岡印刷(株) |
| (株)高木包装 | |

(五十音順・敬称略)

令和3年度 役員名簿

| 役 名 | 氏 名 |
|---------|-----------|
| 理 事 長 | 天 根 俊 治 |
| 副 理 事 長 | 内 田 リカコ |
| 副 理 事 長 | 日 高 容 子 |
| 理 事 | 荒 井 敦 子 |
| 理 事 | 今 治 賀 洋 子 |
| 理 事 | 國 柄 由 紀 子 |
| 理 事 | 谷 垣 康 |
| 理 事 | 西 川 裕 子 |
| 理 事 | 根 来 群 二 |
| 理 事 | 八 代 英 美 |
| 理 事 | 松 井 秀 史 |
| 理 事 | 山 下 幸 江 |
| 理 事 | 山 原 雅 弘 |
| 監 事 | 笹 岡 健 司 |
| 監 事 | 寺 嶋 敏 |